

日刊 發行所 川崎文台 本社下町番地(電話六三〇番)

常新新聞

刊夕日十三月六

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元

零售 每份五分

電話 六三〇番

美味 評判 **イノキ食堂**

平町新屋(縣社通り)

オの部話電四六〇番

内羅專門妙藥 **愛馬散**

小野屋藥店

蓄音器 貴金屬

**會田時計店**

平町四(電三六三)

スター好 中形 粹な手 着尺モスリン 本場カヤ 平町 龜田屋 電五七

肉盤其まゝの高級

ビクターレコード枚「〇〇

日本物と音楽

蓄音器針は

ビクター針先 〇〇

一度御試聴下さい

**レコレ印**

**科外専門**

診療時間 午前八時より午後九時まで

但し急患は此の限にあらす

安齋外科醫院

平町田町大通り電話四三六番

**科外専門**

入院應需

上田外科醫院

平町南町 電話一二九番

**外科新設**

部長 藤本順

右診療を開始す

婦人科 院長 木村寅次郎

右從前通り診療

平町新川町 木村醫院

電話一六四番

**開店御披露**

美味 大量 時節柄 安値

御試食の上 御談判を

出前迅速 一品配達歓迎

大塚豚肉問屋 直營

**カフェー 幸樂**

豚肉年中無休販賣

平町六丁目電話五三九

**赤心堂病院**

平町字田町(電話四七五番)

外科 泌尿器科 新妻由五郎

産婦人科 野秋善直

内科 小林四郎

藥局 ×光線科 木下寅市

**夏衣大廉賣**

音曲諸流家元推薦スター好み

ゆかた地

壹萬圓懸賞付表現

太平洋横断飛行模様

三大提供 麻かや六八 六、五〇

手拭や形 七〇

大興紋り 一、二〇

夏の御買物は

何卒三井へ

來る七月一日より

**平の三井**

看護婦派出

の求めに應ず

平町南町

**平看護婦會**

電話三〇七番

賣子數名

至急募集

詳細面談

浅川ガラス器店

平町二丁目

**平町吉田眼科醫院**

落成新 強勉大の念紀

評判の 氷、氷、氷!

一杯の御注文でも

スグに配達します

ゼヒ御引立を願ひます

みたいや

二丁目(電話三一九番)

平町田町(横内醫院跡)

**佐川齒科醫院**

院長 齒科 佐川 涉

(電七五九)

**事務取扱新設廣告**

住友生命保險株式會社(福島縣平町事務所)

今般住友生命保險株式會社福島縣事務所取扱所を左記に設置致し候間御大典を記念として聊か諸賢の意を表美する意味に於て進んで御加入あらん事を御希望すると共に當事務所に於ても記念品付大募集を致す可く候に付此期を逸せず御賛成給はらん事を切に希望して止まざる次第に御座候 敬白

外務員募集(但し午前中御來談ありたし)

福島縣石城郡平町田町六〇

住友生命保險株式會社(平町事務所)

主任 **福島寛利**

**氷水開業**

暑中はカマボコ製造休業

動力應用(アイスクリーム)

其他水豆や清涼飲料水數々を求めに應じます

アイスクリームは御製製造します

配達迅速

**藤市**

二丁目(電話三〇五番)

# 平野町學問會

## 正内町敷地の環境に就いて

大森佐々木兩君大舌戰 質問未了の儘散會

(昨報の續き)萩原、花澤、兩町議よりの小學校増築及び新築の兩案算切り離しに關する建議案は櫻井。諸橋の兩町議

反對せる のみにて他は全部賛成の爲の茲に成立を見るに至り直ちに伏見町長は

本年度豫算中の小學校建築費十六萬五千圓の内から増築費として三萬一千圓を切り抜き是れを營繕費に繰り込みその財源は歳入に於て一萬一千圓は學校基本金の一部より求め二萬圓は一年償還の起債を以つて充てまた新築費の十三萬四千圓の財源は一萬一千圓を基本金の一部、十二萬三千圓を十年償還起債と改むべく

述べ第三小學校新築の質問戦に入り萩原町議は瓦斯タンク、佃町との距離の關係遊廓屠殺場等正内町の環境が兒童に及ぼす影響及び道路發電所煤煙と保健衛生の點佃町と正内町との水害程度等を質し「平小鐵道

豫定線が 正内町を通過すると聞く、かかる上は兒童の勉學に支障を來るが如き轢音騒然たらざるや」此點を委員會は確かめなかつたかと結ぶ次いで井上議員新築委員として答辯に立ち遊廓は學校敷地より百八十間の距離あるを以つて

特殊部落 を例證して一種の把憂なりと斷じ煤煙は風向の關係上同敷地を災せず平小鐵道は同敷地の傍らを通ぐと雖も勉學に支障を來す程列車の往復頻繁ならず瓦斯タンクと學校の距離は百米突以上の距離を保たざるべからざる規定あれば此點よりして佃町は敷地としての資格を失ふと長廣舌を揮ひ青沼委員長は

補足する 所あり、次に大森議員は「屠殺場には八間の石塀を巡ぐらすと雖も、その現狀が慘虐でないとは云はれまい」と食つて掛る青沼委員長が「今は一續會であるのにとどうも意見に陥りやすくて困る」とあつさり嫌味を述べ井上大森

兩町議問 に小ゼリ合ひあり、委員の一名として佐々木町議起ち「屠殺場の現狀は校庭とは餘程の距離があるばかりでなく夫れが一般人の眼には觸れないのであるから慘虐な悪影響ありとは思はれない、若し見えないもの迄が氣にかかるとせば氣の小さな者は

外科醫師 の前は通學校建設 に當つて

れまい、寧ろ牛肉店の店頭にブラ下つて居る獸肉等はどうかしたものだ」と大見榮を切り平小鐵道の豫定線は秘密に屬する事であらう當局に是れを質すと雖も到底明瞭な返答は求める事が出来ないと信じたから委員會は其點を

鐵道省に 照會しなかつたのであると述べ、大森議員は見えない事でも兒童は想像力が豊富だから慘虐な光景を腦裡に描いて矢張り相當の悪影響ありと思ふが委員は左様に考へられぬかと迫り野崎議員は煤煙や瓦斯タンクに就いて更らに委員に質し「敷地の附近

ボロ屋が あるがあれは衛生上別に差支へないかと考へたか」と聞く、青沼委員長はアツサリ手際よく受け流しボロ屋も卅五間以上も離れて居るのだから問題ではないと云ふ更らに大森議員は「三倉町は地價が高いので候補地の線に洩れたと

委員會の 報告だが一體その價格はどの位であるか」と尋ね青沼氏は坪廿五圓以上の所があるばかりでなく或る大地主は如何なる條件を以つてしても買収には應じないから到底敷地として選ぶ事が出来なかつたと答へ吉田(五)議員は「正内町の敷地に寺が接近して居るがアレは

別に距離に關して規定がないか」と質し伏見町長から瓦斯タンクは規定があるが寺とは規定がないとの答へあり大森議員の學校敷地を選擇に當つて都市計畫を參酌しなかつたかとの問ひに對しては井上氏から考慮の一つとして加へぬ譯ではなかつたが南町裏は將來

商店街として進出膨張すべきであつて其點よ

# 立町側と南町側は可否同數

昨日の町會色分け ソコで決定せず延會

昨日の平町會午後六時の休議前に當つては出席議員廿八名(阿部太平氏欠席)であつて南町側と立町側の色分けから云ふと立町側は十一名の委員が結束して居るか

ら餘程の強味があるらしく觀測されるも其實南町側の猛運動奏効せるものの如く委員會の正内町決定案に對しその賛否は十四對十四で可否同數の爲め結局議長是れを決する立場となり伏見町長の出様如何で敷地は何れにか決定する事になるのであるが斯かる町民監視の集點に立つて町長の一聲で此の重大案件が決められるが如き町治の圓滿を圖る所に非らず又町長としても甚だ苦境に逢着する事とな

# 香奠返し 湯本町が率先 御大典記念に

石城郡地方は古くから華儀の際には必ず相當の禮かへしをする慣習があり貧困者は借財をしてこれを實行する様な状態なので虚禮にひといこの禮返しを制度全廢するは時機に適した事であるといはれてゐるが湯本町では御大典記念として率先してこれを勵行し他町村にも宣傳實行せしむる方針であると

# 正内町を是とする 委員會の報告書

平町第三小學校新築敷地選定に關し委員會は前後數回に涉り慎重調査を重ね協議したる經過左の如し

一、昭和三年一月三十日教育調査委員の報告を承認したる町會の議決に基き平町東部平垣部に候補地を選定すべく左記四ヶ所を豫選し之れが實地調査をなしたり

1、佃町 2、三倉町 3、正内町 4、正月町 右候補地買収に關し全委員を四班に分ち各地主に交渉をなすこととしたり 二、各地主に交渉の結果左の如し 1、正月町は賣渡不承諾の回答により買収見込な

きを以て交渉を打切りたり 2、三倉町は大部分買収價格豫想以上の高價なるを以て候補地より除外したる 3、佃町の買収價格は大部分坪五圓也 4、正内町の買収價格は大部分坪三圓也 三、佃町及正内町兩候補地に就き左の調査をなしたり

1、佃町に就ては、イ、瓦斯發生爐及瓦斯溜と學校敷地との絶對安全距離、敷地の高低測量、ハ、地質並に地耐力調査、ニ、通學道路に關する調査

2、正内町に就ては、イ、附近に遊廓及屠殺場あるを以て教育上悪影響ありや否、ロ、警備炭礦發電所煤煙の保健衛生に及ぼす被害の程度、ハ、敷地の高低測量、ニ、地質並に地耐力調査、ホ、通學道路に關する調査

四、佃町候補地東端より瓦斯發生爐側の距離は二間にして向西方小太郎に延長するも其の距離三十二間(五十八米突)なり依て安全距離に就き縣に照會したるに別紙第一號の通り回答を得たり

且つ其周圍に高さ八尺の石塀を繞らしあるのみならず其の通路を南方に換線し得べきを以て兒童教養上支障なきものと認め 一、一年を通じて正内町候補地の方向に塵く事少なきを以て保健衛生上被害なきものと認め 五、敷地の高低測量の結果別紙第二號の通り正内町と佃町とは一尺七寸七分の差あり 六、地質並に地耐力調査の結果別紙第三號の通り正内町は佃町に比し土地硬質なることを確めたり

依て兩候補地の盛土及基礎工事費比較調査をなしたり 兩候補地の土盛坪數に於て立坪二千二百二十四坪の差を見且つ基礎及土盛工事費豫算に於て別紙第四號の通り壹萬八百餘圓の差額を見た